

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信／特殊型（ブル・ベア型）				
信託期間	2015年12月17日から2017年12月18日まで				
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。				
主要運用対象	<p>円建の外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）」および親投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td> <p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p> </td> <td> <p>主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップを取引対象とします。 担保付スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国リーートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>マネーアカウントマザーファンド</p> </td> <td> <p>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</p> </td> </tr> </table>	<p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p>	<p>主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップを取引対象とします。 担保付スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国リーートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。</p>	<p>マネーアカウントマザーファンド</p>	<p>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</p>
	<p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p>	<p>主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップを取引対象とします。 担保付スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国リーートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。</p>			
<p>マネーアカウントマザーファンド</p>	<p>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</p>				
<p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。</p>					
組入制限	<table border="1"> <tr> <td> <p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p> </td> <td> <p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 有価証券の空売りは行いません。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>マネーアカウントマザーファンド</p> </td> <td> <p>株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。</p> </td> </tr> </table>	<p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p>	<p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 有価証券の空売りは行いません。</p>	<p>マネーアカウントマザーファンド</p>	<p>株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
	<p>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）</p>	<p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 有価証券の空売りは行いません。</p>			
	<p>マネーアカウントマザーファンド</p>	<p>株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。</p>			
<p>株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。</p>					
分配方針	<p>分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>				

T&Dブル・ベア・ファンド （米国リート・ブル・コース）

運用報告書（全体版）（満期償還）
（償還日 2017年12月18日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dブル・ベア・ファンド（米国リート・ブル・コース）」は、信託約款の規定に基づき、2017年12月18日に信託期間を満了し償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド(適格機関投資家限定)(米国リート・2.5倍・ブル・クラス)組入比率	純資産総額
	(分配額)	税込み分配金	期中騰落率				
設定日 2015年12月17日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 10
1期(2016年12月19日)	10,500	0	5.0	—	—	94.7	10
償還日 2期(2017年12月18日)	(償還価額) 12,278.22		16.9	—	—	—	9

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数(トータル・リターン)の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2.5倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド(適格機関投資家限定)(米国リート・2.5倍・ブル・クラス)組入比率	
	騰落率	騰落率				
期首(前期末) 2016年12月19日	円 10,500	% —	% —	% —	% 94.7	
12月末	10,601	1.0	—	—	94.8	
2017年1月末	10,636	1.3	—	—	95.0	
2月末	12,036	14.6	—	—	95.0	
3月末	11,273	7.4	—	—	94.8	
4月末	11,747	11.9	—	—	94.7	
5月末	11,403	8.6	—	—	94.5	
6月末	11,845	12.8	—	—	94.9	
7月末	12,083	15.1	—	—	95.0	
8月末	12,007	14.4	—	—	95.0	
9月末	11,817	12.5	—	—	95.0	
10月末	11,736	11.8	—	—	94.3	
11月末	12,406	18.2	—	—	95.1	
償還日 2017年12月18日	(償還価額) 12,278.22		16.9	—	—	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

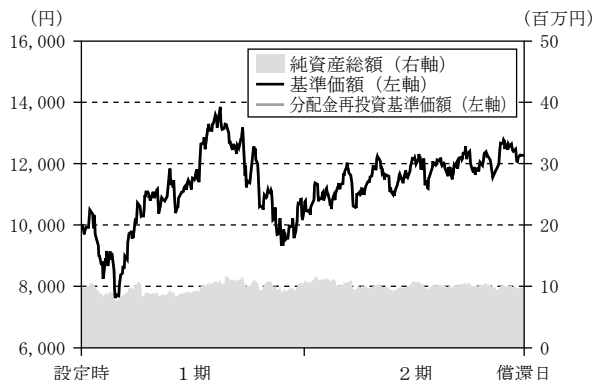
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数(トータル・リターン)の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2.5倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

設定以来の運用経過

■ 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2015年12月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。ダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 投資環境

【米国リート市況】

第1期（設定日～2016年12月19日）

期初から2016年2月中旬にかけては、原油安や株安を受けたリスク回避の動きから下落しました。2月下旬から4月中旬にかけては、原油及び株式相場が反発したこと、良好な米国の住宅関連指標、米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方から上昇しました。4月下旬から6月中旬にかけては、米国の金融政策の行方を睨んで、上下に振れる展開が続きました。6月下旬から7月下旬にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱決定を受けて一時下落しましたが、各国中央銀行の政策対応への期待や米国の長期金利の低下を背景に上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、米国の利上げ観測の高まりと弱めの住宅関連指標が嫌気され下落基調となりました。11月は、月初は米国の大統領選を巡る不透明感から軟調に推移し、予想外にトランプ氏が勝利すると、新大統領の政策を睨んで長期金利が上昇したため、投資妙味が減退し下落しました。12月上旬から期末にかけては、長期金利の上昇に一服感がでたことや、良好な米国の経済指標を背景に小幅反発しましたが、その後はFOMC（米連邦公開市場委員会）が利上げを実施したことなどから軟調な展開となりました。

第2期（2016年12月20日～償還日）

期初から2017年3月中旬にかけては、トランプ米大統領による大規模減税への期待から上昇する局面もありましたが、米国の金融政策の行方を睨んで、上下に振れる展開が続きました。3月下旬から5月中旬にかけても、米国の金融政策の行方を睨んで、上下に振れ易い展開が続きました。良好な経済指標や中東および朝鮮半島の地政学リスクが高まったことなども上値を抑えました。5月下旬から10月中旬にかけては、北朝鮮を巡る地政学リスクやハリケーン・イルマへの警戒感から軟調に推移する局面もありましたが、連邦債務上限問題の進展および米長期金利低下が下支え材料となり、堅調に推移しました。10月下旬から期末にかけては、米国長期金利の低下や主要リートの良好な業績推移を背景に底堅く推移した後、追加利上げ観測の高まりや米税制改革の実現への期待を背景とした米長期金利上昇により軟調な展開となりました。

【国内短期金融市況】

第1期（設定日～2016年12月19日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.02\%$ でしたが、2016年1月下旬に日銀がマイナス金利政策の導入を決定したことや、海外投資家の需要の高まりから金利水準は大きく低下し、期末には $\Delta 0.40\%$ となりました。

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の推移



（注）ダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）は、米ドルベースの指数を、当ファンドが外国投資信託を組入れた日の前営業日を10,000として指数化したものです。

第2期（2016年12月20日～償還日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の△0.40%から期末は△0.18%となりました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」などの短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向の不透明感の高まりなどから利回りは上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）」を高位に組入れました。残りの資産につきましては「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。満期償還に伴い、2017年12月中旬以降コールローン等による安定運用を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーレバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）（米国リート・2.5倍・ブル・クラス）】

直接株式等への投資を行わず、主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスとなった局面で組入れを見送り、組入比率を0%としました。その後も利回りがマイナスで推移したため、組入比率は0%となりました。組入比率が0%の期間については、資産を全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

1 万口当たりの費用明細 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2016/12/20~2017/12/18 金額	比率	
平均基準価額	11,632円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	118円 (56) (56) (5)	1.012% (0.485) (0.485) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	8 (8)	0.072 (0.072)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (監査費用)	2 (2)	0.016 (0.016)	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	128	1.100	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ- レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド(適格機関投資家限定) (米国リート・2.5倍・ブル・クラス)	100	千円 1,187	320 (740)	千円 3,689 (9,343)

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(注) () 内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 49	千円 49

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2016年12月20日から2017年12月18日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年12月18日現在)

償還時における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年12月18日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 9,874	%
投 資 信 託 財 産 総 額	9,874	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および償還価額の状況

2017年12月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	9,874,924円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,874,924
(B) 負 債	52,346
未 払 信 託 報 酬	51,533
未 払 利 息	18
そ の 他 未 払 費 用	795
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	9,822,578
元 本	8,000,000
償 還 差 損 益 金	1,822,578
(D) 受 益 権 総 口 数	8,000,000口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額(C/D)	12,278円22銭

(注) 期首元本額 10,230,000円
 期中追加設定元本額 1,010,000円
 期中一部解約元本額 3,240,000円

(注) 1口当たり純資産額は1.227822円です。

損益の状況

当期 自2016年12月20日 至2017年12月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 287円
支 払 利 息	△ 287
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,418,185
売 買 益	1,652,408
売 買 損	△ 234,223
(C) 信 託 報 酬 等	△ 105,437
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,312,461
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	98,715
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	411,402
(配 当 等 相 当 額)	(11,661)
(売 買 損 益 相 当 額)	(399,741)
償 還 差 損 益 金(D+E+F)	1,822,578

(注) 損益の状況の中で

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年12月17日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年12月18日		資産総額	9,874,924円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	52,346円
				純資産総額	9,822,578円
受益権口数	10,000,000口	8,000,000口	△2,000,000口	受益権口数	8,000,000口
元本額	10,000,000円	8,000,000円	△2,000,000円	1万口当たり償還金	12,278.22円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	10,230,000円	10,741,710円	10,500円	0円	0.0000%

償還金のご案内

1万口（元本10,000円）当たり償還金（税込み）

12,278円22銭

補足情報

マネーアカウントマザーファンドの主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）
 （南アランド・2.5倍・ブル・クラス）／（南アランド・2.5倍・ベア・クラス）
 （ブラジルリアル・2.5倍・ブル・クラス）／（ブラジルリアル・2.5倍・ベア・クラス）
 （インド株・2.5倍・ブル・クラス）／（インド株・2.5倍・ベア・クラス）
 （中国株・2.5倍・ブル・クラス）／（中国株・2.5倍・ベア・クラス）
 （原油指数・2倍・ブル・クラス）／（原油指数・2倍・ベア・クラス）
 （米国リート・2.5倍・ブル・クラス）／（米国リート・2.5倍・ベア・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建			
運用の基本方針 主な投資対象	担保付スワップ取引を通じて、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引対象とします。			
投資態度	①担保付スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。			
	南アランド・2.5倍・ブル・クラス	南アフリカの通貨ランドの円からみた日々の騰落率の概ね2.5倍程度	南アランド・2.5倍・ベア・クラス	南アフリカの通貨ランドの円からみた日々の騰落率の概ね2.5倍程度反対
	ブラジルリアル・2.5倍・ブル・クラス	ブラジルの通貨レアルの円からみた日々の騰落率の概ね2.5倍程度	ブラジルリアル・2.5倍・ベア・クラス	ブラジルの通貨レアルの円からみた日々の騰落率の概ね2.5倍程度反対
	インド株・2.5倍・ブル・クラス	インド株の株価指数先物であるSGX Nifty 50指数先物の日々の騰落率の概ね2.5倍程度	インド株・2.5倍・ベア・クラス	インド株の株価指数先物であるSGX Nifty 50指数先物の日々の騰落率の概ね2.5倍程度反対
	中国株・2.5倍・ブル・クラス	中国株の株価指数先物であるSGX FTSE China A50指数先物の日々の騰落率の概ね2.5倍程度	中国株・2.5倍・ベア・クラス	中国株の株価指数先物であるSGX FTSE China A50指数先物の日々の騰落率の概ね2.5倍程度反対
	原油指数・2倍・ブル・クラス	原油指数であるS&P GSCI原油指数（エクセス・リターン）の日々の騰落率の概ね2倍程度	原油指数・2倍・ベア・クラス	原油指数であるS&P GSCI原油指数（エクセス・リターン）の日々の騰落率の概ね2倍程度反対
	米国リート・2.5倍・ブル・クラス	米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度	米国リート・2.5倍・ベア・クラス	米国リートの指数であるダウ・ジョーンズ米国不動産指数（トータル・リターン）の日々の騰落率の概ね2.5倍程度反対
資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。				
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等を行いません。			
決算日	4月30日			
分配方針	原則として、年1回分配を行います。			
投資運用会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド			

※ 次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。
 (1)(2)：ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コーより入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。
 (3)：クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドより入手した情報をもとに作成しております。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2017年4月30日

	受益権総口数	純資産総額	1単位当たり基準価額
南アランド・2.5倍・ブル・クラス	1,160口	14,468,683円	12,473.0026円
南アランド・2.5倍・ベア・クラス	6,130	31,508,204	5,140.0007
ブラジルリアル・2.5倍・ブル・クラス	2,105	36,589,114	17,382.0019
ブラジルリアル・2.5倍・ベア・クラス	1,205	4,969,424	4,124.0033
インド株・2.5倍・ブル・クラス	1,345	16,620,169	12,357.0030
インド株・2.5倍・ベア・クラス	1,470	9,766,684	6,644.0027
中国株・2.5倍・ブル・クラス	1,830	18,618,424	10,174.0022
中国株・2.5倍・ベア・クラス	2,700	18,362,704	6,801.0015
原油指数・2倍・ブル・クラス	6,685	47,410,025	7,092.0007
原油指数・2倍・ベア・クラス	1,620	8,615,165	5,318.0031
米国リート・2.5倍・ブル・クラス	790	9,235,894	11,691.0051
米国リート・2.5倍・ベア・クラス	1,290	8,223,753	6,375.0023

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲー
レバレッジ型・ブル・ベア・ファンド（適格機関投資家限定）の純資産総額 224,388,243円

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2016年5月1日～2017年4月30日

単位：円

収益	
手数料収入	302,044
投資に係る実現損益	11,898,257
投資に係る未実現利益の増減	(29,318,350)
収益合計	(17,118,049)
費用	
事務代行手数料	302,044
費用合計	302,044
運用損益	(17,420,093)
運用による純資産増減	(17,420,093)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2017年4月30日

スワップ

単位：円

	想定元本額	評価額
南アランド・2.5倍・ブル・クラス	11,600,000	14,468,680
南アランド・2.5倍・ベア・クラス	61,300,000	31,508,200
ブラジルリアル・2.5倍・ブル・クラス	21,050,000	36,589,110
ブラジルリアル・2.5倍・ベア・クラス	12,050,000	4,969,420
インド株・2.5倍・ブル・クラス	13,450,000	16,620,165
インド株・2.5倍・ベア・クラス	14,700,000	9,766,680
中国株・2.5倍・ブル・クラス	18,300,000	18,618,420
中国株・2.5倍・ベア・クラス	27,000,000	18,362,700
原油指数・2倍・ブル・クラス	66,850,000	47,410,020
原油指数・2倍・ベア・クラス	16,200,000	8,615,160
米国リート・2.5倍・ブル・クラス	7,900,000	9,235,890
米国リート・2.5倍・ベア・クラス	12,900,000	8,223,750
合計		224,388,195

(注) 日付は現地基準です。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第16期（決算日 2017年12月11日）
（計算期間 2017年6月13日から2017年12月11日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2017年12月11日に第16期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率			
12期（2015年12月10日）	10,038	0.0	54.5	—	百万円 1,055
13期（2016年6月10日）	10,037	△0.0	—	—	1,019
14期（2016年12月12日）	10,033	△0.0	—	—	1,383
15期（2017年6月12日）	10,029	△0.0	—	—	922
16期（2017年12月11日）	10,026	△0.0	—	—	601

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首(前期末) 2017年6月12日	円 —	%	%
6月末	10,029	—	—
7月末	10,028	△0.0	—
8月末	10,028	△0.0	—
9月末	10,027	△0.0	—
10月末	10,027	△0.0	—
11月末	10,026	△0.0	—
期 末 2017年12月11日	10,026	△0.0	—

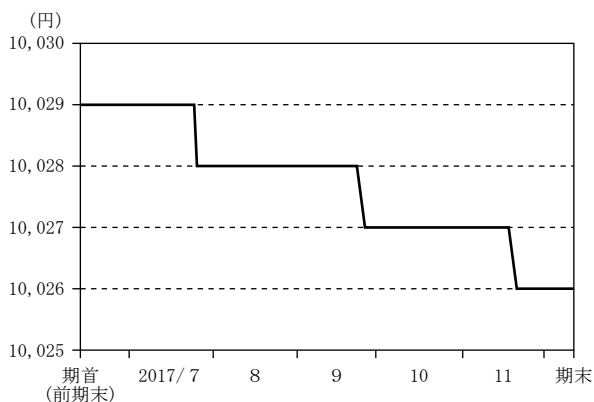
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,029円からスタートし、期末は10,026円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の $\Delta 0.11\%$ から期末は $\Delta 0.17\%$ となりました。日銀の国庫短期証券買入オペ動向の不透明感などから利回りが上昇する局面もありましたが、海外勢による需要の高まりなどを背景に金利は低下しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

短期国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2017年6月13日から2017年12月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年12月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 661,045	% 100.0
投資信託財産総額	661,045	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	661,045,836円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	661,045,836
(B) 負 債	60,001,184
未 払 解 約 金	60,000,000
未 払 利 息	1,184
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	601,044,652
元 本	599,480,283
次 期 繰 越 損 益 金	1,564,369
(D) 受 益 権 総 口 数	599,480,283口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,026円

(注) 期首元本額 920,103,268円
 期中追加設定元本額 1,995,071,770円
 期中一部解約元本額 2,315,694,755円

(注) 1口当たり純資産額は1.0026円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	66,127,026円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルプル・コース	12,370,307円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルベア・コース	810,623円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロプル・コース	154,330円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロベア・コース	1,712,731円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルプル・コース	52,355,949円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルベア・コース	430,154円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアルプル・コース	21,729,762円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアルベア・コース	636,065円
T & D J リートファンド限定追加型1402	488,474円
T&Dブル・ベア・ファンド(南アランド・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(南アランド・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(ブラジルリアル・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(ブラジルリアル・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(インド株・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(インド株・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(中国株・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(中国株・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(原油指数・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(原油指数・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(米国リート・プル・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(米国リート・ベア・コース)	49,811円
T&Dブル・ベア・ファンド(マネーボール・コース)	1,694,200円
リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)	99,632円
リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース)	99,632円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(インド・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(インド・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(中国・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(中国・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(金・ダブルプル5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(金・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブルプル・ベア・シリーズ5(マネーボール5)	440,014,218円

損益の状況

当期 自2017年6月13日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 312,866円
支 払 利 息	△ 312,866
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 312,866
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	2,684,250
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,558,230
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 6,365,245
(F) 合 計 (B + C + D + E)	1,564,369
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	1,564,369

(注) 損益の状況の中で

(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。